

基山町

議会だより

平成30年 第2回定例会

6月議会

No.66

きやま

検索

【特集】 もっと知りたいね、基山のこと！
基肄城・きざん・草スキー



きざん山頂でサークル活動をする女性グループ

平成30年7月31日発行

基肄城・きざん・草スキー



▲草スキー世界一も夢じゃない

基山町のまちづくりは 地理・歴史を知ることから

町は今年3月に「第2次特別史跡基肄城跡保存整備基本計画」を策定しました。基肄城の歴史的価値と現状の課題、そして、周辺環境も含めた整備計画が詳細に記載されています。

また、きざんは町のシンボルでもあり、基肄城は国宝と同格といわれる「国の特別史跡」の指定を昭和29年に受けており、昨年は「続日本百名城」に選定されました。基肄城やきざんへの関心は基肄城築造1350年事業や草スキー世界大会の開催などで高まっています。全国的な認知度はまだまだ十分ではありません。

町民の皆さんや登山者の意見や要望を聴くことで、町が何をしなければならないかが明確になります。そこで今回、広報広聴常任委員会でアンケート調査を行いました。

きざん、基肄城の魅力は

- ・アクセスが良く、初心者も登れるし、草スキーができる。
- ・基山町を守るシンボリック存在。学校の校歌にも詠まれている。
- ・古城である事、古城・名城マニアは沢山います。
- ・きざん山頂からの眺めが素晴らしい。雲仙も見えます。
- ・初夏は風が心地よい。必要以上に開発されていない。
- ・歴史のある山であり、基山町民に愛されている。
- ・我が家からの眺めが一番です。(皆さん良く言われます。)
- ・万葉集にも詠まれています。大伴旅人はどこを歩いたの？
- ・遠足はいつもきざんでした。思い出の場所。

●基山中学校校歌より

「♪ 上げ基の山 常に呼ぶ 歴史にかおる 代々のあと♪」
※佐賀を代表する歌人 中島哀浪 作詞



▲修復された水門跡



▲元旦、山頂からのご来光を拝む

おすすめ

初日の出 きざん山頂から眺める日の出は格別。

草スキー 草スキー可能期間 3月1日～5月31日及び9月1日～11月30日迄。この期間は土日祝祭日のみ頂上売店にて1台300円で木製ソリを貸出し。(平日は基山町社会福祉協議会で貸出し)

史跡めぐり 基肄城史跡めぐりコースをボランティアガイドにて案内。
(問合せ先) 基山町教育委員会 ☎ 92-2200

もっと知りたいね、基山のこと！

基山町に望むもの、今後整備して欲しいこと

- ・登山道の標識や案内板を整備して欲しい。(多数)
- ・水門跡周辺や頂上にトイレが欲しい。(女性多数)
- ・水門辺りの駐車場の整備。(多数)
- ・登山途中や史跡めぐりコースからの眺望が良くない。
- ・続日本百名城をもっとアピールして欲しい。
- ・山頂の植林部分を土塁跡が見えるように伐採して欲しい。
- ・基山町外へのアピールが足りない。
- ・礎石群周辺は立木を伐採して倉庫等を再現して欲しい。
- ・オキナグサなど植物や野鳥を保護して欲しい。
- ・駐車場に休憩所、ベンチが必要です。
- ・三重津海軍所跡で使用されているVRスコープの活用。
- ・史跡めぐりコースを使ったイベントなどを考えて欲しい。
- ・史跡ポイントを設けVRで再現して欲しい。



▲僕たちは忘れない。
きざん登山を！

● 私たちに与えられたヒント

- ・きざん、基肄城を訪れる人は町外の人が意外に多い。
- ・50年前は登山者や草スキーで大にぎわいだった。
- ・基山駅でなく、原田駅からの登山者も多い。
- ・古城マニアが全国にいて知識が深い。
- ・国の特別史跡や続日本百名城は実はすごいこと。

今回いただいたご意見を活かし、町が策定した基本計画に沿って歴史的価値のあるきざんや基肄城の保存整備が早急に進むよう、議会も一丸となって国・県に働きかけていきます。

「基肄城は学術的に貴重な文化財である。周辺環境の特性や課題を整理して史跡の本質的価値を明確にし、その価値を後世に継承するとともに町民や来訪者の歴史学習の場、レクリエーションの場として活用できるように整備基本計画を策定した。」

保存整備基本計画より目的を抜粋



▲山頂の方位盤
「我が家はどこ？」



▲史跡めぐりコースでの礎石群の説明
「当時の建物を想像してみましょう」

個人住民税・固定資産税・町たばこ税の一部を改正

審査、調査
の担当課

総務企画課・財政課・まちづくり課
税務課・教育学習課・出納室

総務文教常任委員会

第2回定例会 議案審議

基山町税条例等の一部改正

問 個人住民税・固定資産税・町たばこ税の一部改正を一括してあげた理由は。

答 平成30年4月の臨時議会で上程したものの以外のもをあげたためである。

問 町民への個人住民税の改正内容の告知は、納税者に対しては、随時知らせていく。

答 給与所得控除が上限となる給与収入を1000万円から850万円に引き下げるとあるが、850万円を超えると、その結果増税になるのではないか。

問 子育てや介護世帯等には負担増とならないよう配慮する。

答 町たばこ税で加熱式たばこの課税方式の見直しをされているが。

問 町たばこ税で加熱式たばこの課税方式の見直しをされているが。

答 加熱式たばこ1箱当たりの溶液の重量に加算されていなかった。今回、溶液も含んだ形で課税する。

問 一般会計補正予算 健康のまち普及拡大業務委託料 278万円

答 コンパクトに暮らす健康（健康で幸せ）のまち事業計画において、町内外に健康のまちをPRしながら、各課にまたがる事業を健康福祉課が一本化する形で普及の推進を行うものである。



▲基山駅前の移転計画の防犯カメラ

問 防犯カメラ設置工事 64万円

答 町内の防犯カメラの設置状況は。現在、12か所で42台を設置している。

問 防犯カメラに設置基準はあるのか。

答 内規では定めているが、早急に設置基準を検討したい。

問 第2回臨時会（4月） 一般会計補正予算（平成29年度）を専決処分

答 JR基山駅前で、改修工事に伴い新規に2台設置し、既存の2台を移設する。

問 4台の設置で基山駅前全体をカバーできるのか。

答 設置工事の関係者から助言をもらい、北側2台と南側2台を計画した。

問 一般会計補正予算（平成30年度）

答 中学校部活動指導員報酬 67万円

問 部活動指導員の立場は。

答 特別地方公務員の非常勤職員で、技術的指導のサポートのみを行う。

ふるさと応援寄附金 4000万円増

問 寄附をいただいた方への返礼品、それに係る諸費用等の差額が額全体の40%をきっているが、今後どうしていくのか。

答 基本的考えとして、周りの状況もみなから返礼率を調整し、地域の産品も加えられるようにしていく。

問 一般会計補正予算（平成30年度）

答 基山中の指導員4人は、今後どうなるのか。

問 事業開始が7月以降で6人の配置だが、4月から6月まで町事業として6人の配置で行っている。

平成30年6月

旧役場跡地に決定！

地域優良賃貸住宅、関連条例を制定

—— 厚生産業常任委員会 ——

審査、調査
の担当課

住民課・こども課・健康福祉課
定住促進課・産業振興課・建設課

第2回定例会 議案審議

地域優良賃貸住宅設置 及び管理条例の内容は

問 入居者資格について、所得基準、子育て世帯、新婚世帯等の資格喪失の場合、退去等もあり得るのか。

答 退去命令を出すことはないが、家賃の減免措置取消しについて重要事項説明書等に明記する。

問 町外移住者を優先するののか。

答 地域優良賃貸住宅制度要綱に町内、町外の規定はないが町外移住者を優先的に入居させたい。その対応については慎重に行う。

問 連帯保証人2人が必要である条件は厳しいのでは。

答 連帯保証人に代わり、保証会社が2人

分の責任を負うことができる。

提案 当初からの目的であつた町外からの移住定住を促進するよう提案した。

問 一般会計での計上ではなく、特別会計として事業の推移、基金の歳

入歳出を明確化すべきではないか。

答 項目数が少ないため、一般会計としても検証できる。

提案 決算審査の際に特別目的会社等の資料を添付し、説明するよう提案した。

**一般会計補正予算
健康促進計画策定業務委託料** 250万円

問 委託の計画期間、内容、委託先は。

答 平成31年度から35年度までの計画で、アンケートを含むデータ分析、報告、まとめ等を予定し、委託先は一般のコンサルタントを考えている。

また、各課にまたがる健康保険事業を連携させ一本化する計画とし、総合計画との整合性を図る。

第2回臨時会(4月)

子育て・若者世帯の定住促進住宅事業契約について

契約金額

9億5162万円

契約の相手

タウンプランニング(株)

問 入居者の選定基準について、どのように考えているか。

答 基本、子育て・若者世帯の住宅であり、町外からの移住者を優先する考えであるが、SPC(特別目的会社)が承認されれば、入居者募集方法も含めて、詳細を詰めていくことになる。

問 公の施設として設置条例はどうするのか。

答 内容を詰めて、指定管理を含め賃料等を施行規則で定める。



▲地域優良賃貸住宅建設 起工式

地方創生推進交付金事業

基山スマートウェルネス事業～コンパクトに暮らそう^{けんこう}健康のまち～
予算総額 76億2556万円（1億6414万円を追加）

6月定例会は1日から8日までの8日間の会期で開催し、一般会計補正予算などの9議案、承認案件1つをすべて可決しました。また、4月にも臨時会を開催しております。

基山町は、今年3月23日に「基山町中心市街地活性化基本計画」が内閣総理大臣の認定を受けました。今回の補正予算では、地方創生推進交付金やふるさと応援寄附金を活用した健康増進事業を始め、認定を受けたことによる社会資本整備総合交付金を活用した駅前広場整備事業や、商店街の活性化事業など新たな都市再生整備計画事業も組み込まれました。

補正内容

・コミュニティ助成事業交付金 470万円
9区（250万円）、12区（220万円）への助成で、各区自治会の備品購入。

・DIYサポーター養成講座委託料 48万円
町の木工教室などで指導協力者としての能力を身に付ける講座。高齢者の社会参画および多世代交流拠点活用事業。

・空き店舗活用チャレンジショップ業務委託料 100万円
中心市街地の空き店舗を購入、または借り受けする新規出店者に改修費用の助成を行う。

・商店街にぎわいづくり業務委託料 100万円
モール商店街のグリーンロードを活用したイベントの開催。交流機会の拡大。

・基山健康プロジェクト業務委託料 300万円
高齢者の孤立化防止、健康維持、健康食材の開発、世代間の交流等。

・三国・丸林線道路改良設計業務委託料 500万円

・駅前広場改修工事設計業務委託料 250万円

・道路維持及び新設改良工事請負費 1億415万円

神の浦12号線、三国・丸林線ほか



▲けやき台側から三国・丸林線を望む

・民俗芸能を活用した地域活性化事業 383万円

御神幸祭、園部くんちの情報発信のためのポスター・パンフレット作成。仮設席の設置など、環境整備を行う。

国民健康保険 特別会計 補正予算

193万円を追加

予算総額 20億3060万円

下水道 事業会計 補正予算

支出を186万円減額

収益的支出総額 3億8902万円

全議案および賛否表

全会一致で可決・承認した議案

平成30年 第2回臨時会（4月12日）

議案番号	議 案 名
議案18	子育て・若者世帯の定住促進住宅整備事業契約について
承認 2	専決処分の承認を求めることについて（税条例の一部を改正する条例）
承認 4	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度一般会計補正予算（第12号））
議案19	平成30年度一般会計補正予算（第1号）

平成30年 第2回定例会（6月1日～8日）

議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
議案20	地域優良賃貸住宅基金の設置、管理及び処分に 関する条例の制定について	議案25	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団 体の数の増加及び同組合規約の変更について
議案21	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化の ための固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	議案26	平成30年度一般会計補正予算（第2号）
議案22	地域優良賃貸住宅設置及び管理条例の制定について ※一部修正あり	議案27	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案24	地域優良賃貸住宅の指定管理者の指定について	議案28	平成30年度下水道事業会計補正予算（第1号）

賛否が分かれた議案 ○賛成 ●反対 議長は採決に加わりません。

議案 番号	議 案 名	賛 否 表											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		松石 健児	大久保由美子	末次 明	栗野 久明	久保山義明	牧 蘭 綾子	木村 照夫	河野 保久	重松 一徳	鳥飼 勝美	大山 勝代	松石 信男
平成30年	第2回臨時会（4月12日）												
承認3	専決処分の承認を求めることについて（国民健康保険条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
平成30年	第2回定例会（6月1日～8日）												
議案23	税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●

議長交際費執行状況表（平成30年度4月～6月）

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方及び行事名等	
御 祝	5,000	4/17 大興善寺つつじ園開園式	
御 祝	4,294	5/21 モール商店街協同組合第38回通常総会	
合計件数(件)	合計額(円)	累計件数(件)	累計額(円)
2	9,294	2	9,294

一般質問

12人が町政を問う

(傍聴者 のべ68人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町の場合は、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はYouTube(ユーチューブ)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。

町議会ホームページ <http://www.town.kiyama.lg.jp/gikai/default.html>

傍 聴 記

今回の傍聴は、早朝より県下一斉美化活動と農繁期が重なりましたが、地元議員の一般質問に期待を持ち参加しました。

傍聴席が蒸し暑く在室が難しい状態の中でしたが、事細かく調査して質問しておられる議員の皆様に感心しました。

傍聴席の男性の方ですが、「基山を知る機会が無いので一人で傍聴に来ました」という方もいらっしゃいました。議員の皆様への取り組みについてPRをもっと行えば、町民の議会に対する親しみが出るのではないかと思います。

質疑応答を拝聴しながら思いましたが、私達の生活と活動を後押してくださる議員の皆様の実行力に期待したいと思いました。

傍聴させていただき本当に有難うございました。町の発展ため身体に気をつけて頑張ってください。

第7区 モンキーサロン会員 女性 (60代)

2日間にわたる一般質問において、12人の質問事項・内容では町議の皆さん全員が安心安全なまちづくり、生活環境の改善、学校教育面など多方面であった。議員と執行部の議論も白熱化していた。町議会と行政側の真剣さを感じる素晴らしい議会を傍聴することができた。

一方では真剣な議論をする中「これだけは、ここまで行政の理解と行動への担保を確認する」といった詰めが不足している感じも受けた。

質問に対して、議論のやりとりのみで、質問者の思いをどこまで訴え、どこまで伝わったかが良く見えない点もあった。

いずれにしても、町議と行政のまちづくりに関する一体感是十分に感じる議会運営であり、今後の基山町の発展、将来性が期待できる議会の傍聴ができた。

第2区 男性 (60代)

休日議会の一日目、6月2日(土)所要が終わり、急いで議場へ向かいました。この日最後の一般質問にどうにか間に合いました。しかし傍聴者は私を含め2人、何でこんなに少ないのかと感じました。そして一日目の議会が終わり、いきなり傍聴記をお願いしますと言われました。傍聴記の依頼がこんなやり方で良いのですか。

本題に入ります。今まで何度も傍聴に来ましたが、改めて感じたことは、個々の議員の方々が取り上げるテーマは多岐にわたって良いと思います。しかし、行政側と議論される内容に深堀りが足りないと感じます。議論とは、お互いの違った立場で考え方を述べ合い、真の課題を見つけ出す場ではないですか。質問者としての考えを持ちつつ、色々な角度から関連する組織の議論はどうだったのか等、いかに行政側の方針や考え方を引き出すかではないですか。経験・素質・得手不得手を乗り越えて町民から付託されていることを念頭に、行政に対するチェック機能を大いに発揮してください。議員個々の益々の自己研鑽を期待します。

第10区 男性 (70代)



問

消防格納庫は町の責任で管理せよ
答 今後十分調査し検討していく

鳥飼勝美議員

問 各部の消防格納庫の土地、建物の所有者・管理者は誰か。

答 各部の各行政区となっており、管理費の費用負担については、格納庫の建設・改修費について、町が一部負担している。

問 町は消防格納庫の管理を各行政区に委ねているが、これは消防格納庫という消防の基本的な施設を町が管理していない状況であり、消防組織法の精神に反すると考えるが。

答 今後の消防団のあり方について各地区の意見等を踏まえ、十分調査し検討していく。

問 このように、消防格納庫を町の施設として管理しなくて、各行政区に委ねている市町村は基山町以外皆無である。早急に消防格納庫の管理は、町で実施すべきであるが。

答 消防格納庫などの建設費用や

管理費用について法の改正等もあっており、今後の消防団のあり方について各地区の意見等を踏まえ、検討していく必要がある。



▲町が管理すべき消防格納庫

町制施行80周年記念事業について

問 来年は町制施行80周年を迎える記念すべき年となる。これまでの基山町を振り返り、更なる発展のための第一歩となるような記念事業はあるのか。

答 今後実行委員会により、記念式典の開催を含め、事業内容等を9月議会で提案したい。



問

エミューを観光資源にできないか
答 「きやまファーム」が検討中

大久保 由美子議員

問 エミューを町のふるさと名物として応援宣言され、新聞やテレビなどで飼育場や特産品の取組が何度も報道された。そこで、気軽に見学できる施設ができないか。

答 エミューを飼育している「きやまファーム」が、衛生管理や安全保持に配慮した飼育方法や施設場所での見学を検討している。

問 ジビエ解体処理施設が5月に開所したが、指定管理者はジビエをどのように活用する考えか。



▲開所したジビエ解体処理施設

答 特産品として地元の飲食店でジビエ肉の提供とふるさと納税の返礼品として活用していく。

問 ふれあいフェスタで、毎年ジビエ料理を提供しては。

答 ふれあいフェスタの実行委員会や関係者等に提案して、協議しながら進めていきたい。

資源物回収ステーション施設の見直しを

問 旧役場跡地の資源物回収ステーションが撤去され、役場西側のテントと(有)基山公栄社の2か所となった。今後、代替え設置場所は。

答 搬入拠点が減少し、資源物回収の減少を危惧している。数箇所の代替え候補地を検討している。

問 役場西側の簡易的なテントは防犯防災が心配される。安全なステーション施設の見直しを。

答 ステーションの構造的なことも、今後、検討していく。



問 生活道路の整備について

答 まちづくり提案により実施

木村 照 夫 議員

問 まちづくり提案等で町民より要望されている道路拡幅工事、整備の案件等はあるのか。

答 平成28年から平成30年5月までの期間で、道路拡幅工事が2件、道路整備が3件。

問 今年度は生活道路拡幅工事、または整備等の計画はあるのか。

答 当初予算での拡幅工事の計画はない。今、検討している拡幅工事は、まちづくり提案されている工事で、地域や地権者との調整の結果により実施を検討している案件が2件ある。また、まちづくり提案により道路側溝設置や路肩改修工事を検討している道路整備は2件ある。

問 生活道路の拡幅工事をする場合は、土地の確保が必要である。民地を買収して確保する場合、または土地を無償で提供（寄附）していた場合があるが、土地の

買収及び無償提供等の基本的な考え方を示せ。

答 地域住民が利用する生活道路の拡幅工事では、拡幅に必要な道路用地を地域において確保していただき整備を行っている。



▲未整備の町道



問 新保育所、希望に沿った入所判定を

答 満足となるよう、精一杯努力する

久保山 義 明 議員

問 新町立保育所等建設において、今後考えられる課題とは。

答 平成32年4月の開園に向けて事業を進捗させること。さらに民間保育所との入所調整、病後児保育、休日保育等の新たな保育サービスの付加等が課題と考える。

問 基本設計を公募型とし、実施設計を入札とすることが理解できないが。

答 予算計上の際、切り分けられるものは分けたが、条件付きで実施設計まで一体とした契約をすることも考えている。

問 基幹系保育所としての基山保育園の役割とは何か。

答 保育量と保育サービス水準の確保や町内6園の中心となり、連携会議や事業の実施を行う。また、併設する子育て広場では、子育てに関するワンストップ窓口を子育て世代包括支援センターと連

携し、妊娠期から子育て期に渡る切れ目ない支援を行っていく。

問 保護者説明会やアンケートでの特徴的な意見や回答は。

答 民間保育所の保育サービス内容、費用に関わるものが多く、また、民間と町立の振り分けの考え方についての意見があった。

問 入所判定が不安との声が多いが。

答 通常より早い11月に判定会議を考えている。初年度はどちらかに偏りがあるかもしれない。



▲町立保育所建設予定地



問 働く子育て女性の健康支援は

答 更に健康診断の周知に努力する

栗野久明議員

問 ひとり親家庭は、増加傾向にあるのか。

答 ひとり親家庭等医療費助成受給資格者数の直近の数値から見ても、増加傾向にある。

問 母子家庭の母親で重篤な病とされた方はいるか。

答 平成29年度では、1848件中10件の方は入院されている。

問 母親が病で倒れた場合は、子供の生活が一変するが、そこには生活の支援が必要では。

答 今年度からこのようなひとり親家庭の方の医療費は、自己負担額を免除し無料としている。

問 母親が倒れた場合、近くに親元など生活支援者がいない家庭の支援はどうしているか。

答 短期間ではあるが、洗心寮などで、ショートステイで子供を預かっている。



▲子育て支援相談窓口
出典：子育て支援ガイドブックより

問 働く子育て世代の女性は、育児などの理由から病で倒れることはできないかと思う、常に自分の健康に不安を感じている。健康診断の受診率向上と支援策の考えは。

答 平成29年度から20歳以上の方に子宮がんの他、町独自で乳がんを乳線エコーで健診できるよう改正し、同年361人が受診している。今後も周知していく。

問 就学援助入学準備金を3月支給に

答 研究していきたい

大山勝代議員



問 就学援助の入学準備金の支給時期を県内の12自治体と同じように3月支給に。また、窓口払いではなく、18自治体と同じように口座振込にしてほしい。

答 今年は入学式当日に支給した。3月支給は研究したい。

問 基山の3校は昨年から夏休み短縮が実施された。子どもたちが楽しく学校生活を送っているか、教師の多忙化に拍車がかかっているのかの観点からの質問。文部科学省の次官通知で、「標準授業時数を大きく上回らないように十分配慮すること」とある。町は大きく上回っているのではないか。

答 新指導要領の移行措置及び平成32年度の完全実施に向け、授業実施時数が増加しているが、大きく上回ってはいない。



▲男女参画に関する佐賀新聞の記事

基山町男女共同参画推進プラン

問 平成23年に策定されたプランで、5年後の見直しが行われている。主な項目の推進目標の推移は、どうなっているか。

答 アンケート調査では「男性が優遇されていると感じる」割合が3・3%アップ。「男女共同参画基本法の認知度」は5・4%アップ。「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきとの考えに賛同しない人」の割合が、7・8%アップしている。啓発活動が一定の成果を上げていると考える。



問 多文化共生のまちづくりの形は

答 外国人を孤立させない社会づくり

牧 園 綾 子 議員

問 進めようとしている形を具体的に示せ。

答 今後も技能実習生は増加傾向にあるので、まずは言葉が壁とならないための日本語学習の支援を行う。

問 全国的にトラブルが起きている事例を含め、急務と考えている問題等はあるか。

答 滞在期間に定めのない方と、一定期間滞留在し帰国される方の2つに大別され、後者の方の交通マナー違反やゴミの出し方、深夜の騒音といった近隣トラブル、鳥栖警察署管内での行方不明者が出るなど、問題になることがある。

問 中心市街地活性化基本計画で示した各目標設定にリンクした内容の施策やイベント等は考えているか。

答 計画はないが、まちなか公民館で民間団体による外国人対象の日本語教室が行われている。



▲多文化共生シンポジウムの様子

基山町保育所整備基本構想について

問 子育て施策窓口のワンストップ化とは、現状よりどう利便性が変わるのか。

答 保護者の方がどこに問い合わせたいのか分からないといった問題を子育て支援包括センターに問い合わせると、町の子育てに関する情報について、ワンストップで提供を受けることができる。



問 高齢者活動団体に支援を

答 町独自でできることは検討したい

重 松 一 徳 議員

基山町老人クラブ連合会加入は4団体（1区、5区、9区、11区）に減少し、未加入の高齢者活動団体も含めて、町の支援強化を求めて質問した。

問 町老連加入の老人クラブが減少した要因は。

答 各区の老人クラブ事業に加え、役員を中心に町老連事業、国・県老連の連絡調整等多忙なため、独自の地域活動に比重を置いた団体が町老連を脱退されたと思う。

問 未加入の高齢者活動団体の活動状況は、把握されているのか。

答 各区長から聞いている。

問 老人クラブには補助金があるが、未加入の高齢者活動団体には補助金がないのはなぜか。

答 福祉活動事業費補助金要綱で、老人クラブ連合会と町老連加入の老人クラブを指定している。

問 平成23年に「敬老祝金支給条例の一部改正」の議案の時に、老人クラブ未加入団体にも補助できるようにしたいとの説明があったが、どうなっているのか。

答 町独自でできることについては検討したい。敬老祝金改正時の議会との約束は確認をしたい。

問 老人クラブ連合会に未加入団体が加入しやすいように対策を講じるべきでは。

答 町としても各団体の意見を聞く中で検討したい。



▲7区桜クラブ 除草作業に汗を流す



問

駐車禁止を前倒しで実施を警察への周知を図り、努力する

河野 保久 議員

けやき台内の交通安全対策は

問 白坂久保田2号線開通後の交通安全のための交通規制は。

答 制限速度40キロ・駐車禁止を計画している。

問 周回道路・住宅地内は。

答 周回道路は、現状の速度調査の実態を見て決定する。団地内はゾーン30を提言していく。

問 駐車の実態は、一日平均約13台となっている。町の感想は。

答 自宅等の車両購入時に申請した場所での駐車をお願いしたい。

問 けやき台内の交通マナーについてはどう思うか。

答 マナーは良好。速度規制の徹底した啓発を行っていく。

問 中学生の自転車通学時の学校の指導は。

答 一旦停止・坂道の速度抑制を強く指導している。

問 交通規制の導入の時期は。

答 規制内容に問題がないのか警察署が現地確認後、標識等が設置される。できる限り早くと考えるが開通と同時に原則となる。



▲現在の白坂久保田2号線

問 路上駐車に事故の危険を感じている町民もあり、駐車禁止だけでも前倒しで実施できないか。

答 警察に周知してもらおう機会を作り、強く求めていく。



問

子どもの国保税均等割減免を均等割の減免を検討する

松石 信 男 議員

問 国保税の仕組みと重すぎる負担は、子育て世帯に経済的な困難をもたらし、子どもの貧困を悪化させる一因ともなっている。子どもの均等割減免に踏み出す市町村も増えている。町の国保税は、所得割、均等割（一人当たり）、平等割で構成されているので、子どもの数が増えれば国保税が上がっていく。均等割軽減を図ることは、少子化対策として実効性が高いと思うがどうか。

答 子育て世帯の負担軽減になるため、少子化対策のひとつになると思う。



▲基山保育園の泥んこ遊びの園児

問 子どもの均等割額は。また他の保険制度にはあるのか。

答 均等割額は3万2300円。社会保険の保険料は、加入者の報酬月額で決められ、保険料は加入者と雇用主が折半し、その扶養家族には保険料はかからない。

問 子育て支援として、多子世帯を支援する均等割の減免を求めるがどうか。

答 平成31年度以降に検討すべきものとして、均等割の減免を入れていく。

ひとり親世帯の支援について

問 基山町は、ひとり親世帯が全国平均を上回っている。非婚のひとり親家庭への寡婦控除のみなし適用の支援はどうしているのか。

答 公営住宅家賃、保育料は行っている。児童扶養手当、未熟児養育医療費給付など今後適用する。



問 身元保証人の公的サービスは 答 民間事業者での対応を

松石 健 児議員

問 ひとり暮らしの世帯数及び今後の傾向予測・見解は。

答 平成30年4月末で、施設入所者等を除けば475世帯と思われる。今後も少子高齢化に伴い、増加していくと考えている。

問 町の高齢者数4934人の約1割が単身世帯だが、この方々が身近に頼る人がおらず、病気の時やひとりできない日常生活に必要な作業ではどのような公的生活支援があるか。

答 介護保険サービスとして、要介護・要支援認定により訪問介護や訪問看護がある。また、電球替えなどの軽度な日常生活支援については、総合事業の訪問型サービスBと社会福祉協議会で行うシルバー人材センターでの支援がある。

問 誰も頼る人がいない場合、病院に入院したり、福祉施設に入ったりする際に、身元保証人を求め

られることがある。福祉サービスで対応できないか。

答 今のところ考えていない。民間サービスで対応してほしい。

問 国の管理制度にまだ不十分な点がある。制度が整うまで福祉サービスでの対応が必要ではないか。また、市民後見人制度も育成するべきでは。

答 総合的に調査を行い、今後考えていきたい。



▲社協でのひとり暮らしの方を対象とした交流会



問 基山町消防団の組織見直しは 答 団員の意見や提案を取りまとめる

末次 明議員

問 現在の基山町消防団は各部とも団員確保の難しさに直面している。担当地区の見直し、再編が必要ではないか。

答 消防団員不足対策として支援し、現在12人の支援団員が4つの部で従事している。団員確保についてはどの部も勤務形態等の変化などから苦慮されている。まずは部長会等で団員の率直な意見や提案を取りまとめることが重要ではないかと考えている。

問 消防団は満18歳以上の者という以外に年齢制限はない。各部が入団時、退団時年齢をある程度揃えないと消防団の構成年齢の均衡がとれなくなるが。

答 入団時の最高年齢や定年の年齢は決めていない。入団者と退団者の年齢については、各部の状況に応じて判断していただいている。

問 消防団員は役場職員に負うところが多く、負担をかけている。役場内では中堅職員でもあり、大きな災害があつたとき役場職員としての職務と重なるのではないかと。また、役場職員は時間外勤務や休日出勤もある。

町長はどう考えているか。考慮されているか。

答 消防団員の方々には、昼夜を問わず火災等に対応していただき感謝している。役場職員は地域の実情にも精通し、町内業務に従事しているので、昼間の出勤も可能な重要な団員と認識している。



▲伝統ある基山町消防団

最終報告を提出

素晴らしい新保育所開園に期待

基山町立保育所建設等特別委員会

平成29年6月13日の本会議において、次世代を担う乳幼児が社会性を身に付けるための良好な教育環境を確保するとともに、保護者の保育ニーズの多様化に対応できるようなサービスの更なる向上を目指した保育所建設等について調査、審査をするために本特別委員会が設置された。

平成30年3月の定例会で民間・公立保育所ともに関連予算を可決したため、当委員会は要望を記した最終報告書を提出。要望内容の要約は次のとおり。

1. 町民、保護者の要望に沿った運営を行うこと。
2. 移行計画についての情報発信を適宜行うこと。
3. 入園希望者の不均衡が生じないよう民間保育所と協議を事前に行うこと。
4. 乳幼児に環境面の問題点が発生した場合は情報を開示し、安全な運営の対策を講じること。
5. 開園計画に問題が発生した場合、必要があれば一定の延期も視野に入れること。
6. 庁舎西側から建設予定地間の連絡道路の安全面に十分な措置を講ずること。

意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について、国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	内容(概略)	結果
意見書	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、計画的な教職員定数改善を推進すること。また、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担割合を2分の1に復元する措置を講じられるよう強く要請する。	採択 (全員賛成)

平成30年 第3回基山町議会定例会会期日程(案)

9																		月
21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	曜日
9:30	9:30	9:30	9:30				9:30	9:30	9:30	9:30	9:30			9:30	9:30	9:30	9:30	開 時 間
本会議	委員会	委員会	委員会	休 会	休 会	休 会	本会議 委員会	委員会	委員会	委員会	本会議	休 会	休 会	本会議	本会議	本会議	本会議	議 事 内 容
委員長報告・討論採決	決算特別委員会（調整）	決算特別委員会	決算特別委員会				（午前9時30分） 委員長報告・討論採決 （本会議終了後） 決算特別委員会	各常任委員会（調整）	厚生産業常任委員会	総務文教常任委員会	議案審議・委員会付託			一般質問（2人）・議案審議 委員会付託	一般質問（5人）	一般質問（5人）	会期決定・提案理由説明等 決算特別委員会設置	備 考

亀の甲ため池現地調査

総務文教常任委員会

所管事務調査

大正時代に築造され、灌漑事業に長年利用されている。昭和28年に大雨により東側土手が決壊して、大きな災害が発生した。平成27年に県の防災重点ため池として指定を受けたが、耐震性の有無の把握ができていないため、本年度、農村地域防災減災事業として耐震性の調査を国費（740万円）を基に県事業で実施するため現地調査を行った。地震や昨年7月の朝倉市等で発生した局地的大雨が降れば決壊の恐れがある。防災上の観点からは喫緊の課題である。今回の耐震調査を踏まえ、人的災害の危機感をもって十分な調査対応を求めた。

7月6日の豪雨で、決壊は免れたが大きき損壊した。今後は県と協議しながら、迅速に復旧作業を行うよう要望した。



▲損壊前の水位等状況説明を受ける委員会

民間保育所の運営について

厚生産業常任委員会

所管事務調査

舞の里バディ保育園（古賀市）及び認定子ども園バディスポーツ幼稚園（筑紫野市）の現地視察を行った。玄関から入ったホールを中心に園児たちをどの部屋から目が行き届く設計がされており、すべてにシンプルといった印象を受けた。基山バディ保育園は、今回視察した両園のイメージをもとに建設され運営されると考えられる。あくまでも基本的な生活習慣を身につけ、自立を目指す保育方針であることが資料で理解できた。保護者が、民間保育所と町立保育所の選択を行う場合、情報をきっちりと指示し希望に寄り添った措置をとることを前提に、公平な基準で調整されるよう提案した。



▲バディスポーツ幼稚園でウェルカムダンスの様子

西日本豪雨による被害のお見舞い

平成30年7月に発生した西日本豪雨に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

基山町も、土砂災害による被害が多数発生しました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

今回、基山町の宝として、基肆城、きざんをもっと知ろうと特集を組んでおりました。復旧に向けた計画は進めなくてはいいませんが、まずは被害を受けられた皆様の生活再建のための支援を第一に、基山町議会は強い決意で、早期復旧に向けて取り組みでまいります。

基山町議会

広報広聴常任委員会

委員長	牧園 綾子	委員	栗野 久明
副委員長	松石 健児	委員	末次 明
委員	木村 照夫	委員	大久保由美子